



様式1(主な取組)

活動指標名	MICE専門人材育成の講座・セミナー開催				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	24回	—	100.0%	9,765	順調	<p>活動概要</p> <p>ホテル、PCO、旅行会社、観光協会、観光事業者、各種サプライヤー、MICE関連団体等を対象に、MICE案件の獲得からオペレーション業務に至るまでの各事業者に求められるノウハウを習得するためのセミナーを県内6圏域計24回開催した。</p>
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			<p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>MICE専門人材育成のための講座を県内6圏域計24回開催し、ホテル、PCO、旅行会社、観光協会、観光事業者、各種サプライヤー、MICE関連団体等延べ541名が参加した。沖縄MICEネットワークの会員を中心に、想定以上の受講があり、「順調」である。</p>
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案								反映状況		
—								—		



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・MICEビジネスは産業の裾野が広く、M/I/C/Eの分野ごとにプレーヤーとなる事業者も異なることから、求められる人材も多種多様であり、効果的な人材育成を図るには、県だけでの取組に限界がある。

#### ○外部環境の変化

・沖縄MICEネットワークの設立により、民間事業者によるMICEビジネスへのチャレンジ意識は高まりつつある。民間旅行会社の中には、独自にMICE人材の育成に取り組む企業も出てきている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・これまで座学が中心だったが、ロールプレイング等を含めたより実践的な内容を取り込む必要がある。

・OCVBが実施している人材育成研修や沖縄MICEネットワークによるMICE勉強会など行政による支援と、民間独自の取組との相乗効果により、MICE専門人材を多数育てていく仕組みを構築する必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・M/I/C/Eごとにどういった人材が求められているか、沖縄MICEネットワークの会員等から調査し、ニーズの高い人材育成カリキュラムを検討する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-才	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興	
			施策の小項目名	○県内産業界によるMICEの活用促進	
主な取組	MICE限定制度の導入検討			実施計画記載頁	240
対応する主な課題	①沖縄県内において様々な展示会・商談会を開催し、県内産業の成長を図っていくためには、大型展示場を整備することは元より、多くの出展者や来場者が集まり、かつ高い商談成約率が望める魅力的な開催環境を作り出すことが重要である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
展示会・商談会の開催時に、海外から展示販売等の商品を日本国内に持ち込む際の関税等の課税免除手続きの簡素化、MICE参加者の出入国手続きの迅速化に向けた新たな制度の導入可能性を検討する。						
		調査	制度検討、関係団体との調整			
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	アジア経済戦略課、MICE推進課 【098-866-2340】					

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名	展示会先進地等調査						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	0	0	0	0	21,120	4,192	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 展示会等の誘致活動や各種情報収集等と合わせて先進事例の調査を実施した。 ○H30年度: 先進地調査を実施する。
予算事業名	-						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
		-	-	-	-	-	-		○H29年度: - ○H30年度: -

様式1(主な取組)

活動指標名	先進地事例調査の実施				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	-	-	-	-	事例調査	事例調査	100.0%	21,120	順調	活動概要 展示会等の誘致活動や各種情報収集等と合わせて先進事例の調査を実施した。
活動指標名	-				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠と取組の効果 保税に関する取組など、今後の取組の参考となる、国内外の先進事例を把握した。
活動指標名	-				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
※ H29年度に新たに追加した項目のため該当なし。						※ H29年度に新たに追加した項目のため該当なし。				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・国際的な展示会・商談会を誘致・開催するには一定の施設規模を備えた展示場が必要であり、新たな制度は県が推進する大型MICE施設での活用を想定している。このため、当該取組については、今後の大型MICE施設の整備状況も踏まえつつ、供用開始のタイミングで創設できるよう取り組む必要がある。

#### ○外部環境の変化

・国内の他の都市において、常設保税展示場の認定を受けた施設が2019年に開業予定であり、沖縄における展示会の誘致に向けては、こうした都市との競争し得るような制度設計を行う必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・展示会主催者や参加者の利便性や負担軽減につながる効果的、実効的な制度について更なる調査検討が必要である。

### 4 取組の改善案(Action)

・国内外の展示会ビジネス先進事例について、関係者との意見交換を行い、魅力的な開催環境に向けた取組を検討する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(6)-オ	MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出	施策	① MICEを活用した新たな産業の振興	
			施策の小項目名	○MICE関連産業の創出	
主な取組	主催者等とのマッチングイベント開催			実施計画記載頁	240
対応する主な課題	②MICEは地域経済への波及効果が高く、観光と比べての関連産業の裾野は広いとされているが、MICEから派生するビジネスに取り組んでいる県内事業者はまだ少ないのが現状である。今後、MICEによる県内への経済波及効果を最大化するためには、MICE開催時に主催者から県内事業者が受注できる業務を拡大していくことが重要な課題である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
MICE開催地の決定に影響力のある主催者のキーパーソン、各種催事を企画・提案する旅行会社、プランナー、MICE運営事業者等を招聘し、沖縄のMICE開催環境をPRするとともに、県内MICE関連事業者とのマッチングを行う。						
実施主体		県、OCVB				
担当部課【連絡先】		文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】				
		主催者等とのマッチングイベント開催				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名	戦略的MICE誘致促進事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
一括交付金(ソフト)	委託	—	—	—	—	48,438	25,695	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 国内市場、海外市場のMICE関係者と県内事業者とのマッチングイベントや商談会を実施した。 ○H30年度: 国内市場、海外市場のMICE関係者と県内事業者とのマッチングイベントや商談会を実施する。
予算事業名	—						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	主催者等とのマッチングイベント開催				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		—	—	—	—	実施	—	100.0%	48,438	順調
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
—						—				





## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・海外市場については、マッチングイベントに参加するものの、多言語対応が難しい、海外企業との商談や取引に不慣れな県内事業社もあり、実際の案件成約に至らないケースもある。

#### ○外部環境の変化

・国内については、沖縄が開催地に選ばれるために、常に新しいMICE情報の提供が求められている。  
・海外については、MICE開催地としての沖縄の認知度が十分でない。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・マッチングイベントの開催にあたっては、具体的な案件獲得や直接主催者とのネットワークを構築できるよう企画を検討する必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

- ・マッチングイベントによる具体的な案件獲得のため、県内事業社向けの商談スキルアップ研修の開催を検討する。
- ・また、県内事業社が新たなMICE情報の発信を行う場として、海外での沖縄の認知度の向上のため、現在の取組を継続する。



様式1(主な取組)

活動指標名	ユニークベニュー、体験プログラム、MICE限定商品・サービスの開発促進				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要	
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
実績値	—	—	—	—	実施	—	100.0%	6,830	順調	MICEコンテンツの開発に取り組む地域(1地域)や新たなMICEビジネスの事業化に取り組む企業(1社)に対する支援を行った。	
活動指標名	—				H29年度						
実績値										進捗状況の判定根拠と取組の効果	石垣市では、観光協会やホテル事業者らが中心となって、MICE受入のための体制整備やコンテンツを開発した。MICEビジネスの支援については、MICE参加者向けに県産品の商品カタログを製作しており、本取組の効果としては「順調」である。
活動指標名	—				H29年度						
実績値											
(2)これまでの改善案の反映状況											
平成29年度の取組改善案						反映状況					
—						—					



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

- ・沖縄MICEネットワークの設立を契機に、MICEに興味・関心を持つ企業は増えつつある。
- ・MICEの受入に積極的な地域はまだ少ない。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県内事業者を対象にしたアンケートによれば、MICEを活用したビジネスや地域活性化に関心は高いものの、具体的に何をすればよいかかわらず、MICE関連の情報が圧倒的に不足している状況にある。まずは、県内事業者や市町村を対象に、県外・海外の成功事例紹介やMICE関連セミナーを通じて、MICEについての理解度を高めていくことが求められる。

### 4 取組の改善案(Action)

・県内市町村、観光協会や企業等の様々な取組が促進されるよう、沖縄MICEネットワークにおける各種勉強会、普及啓発活動等を通じて、MICEビジネスやMICE受入に取り組む先進事例等を紹介する。